

# 国鉄形車両の記録 急行形気動車

国鉄分割民営化から30年を経た今日、国鉄時代に製造された車両は勿論のこと、JR化後間もない頃に製造および改造された車両ですら置換が各地で始まりつつある。このように相当な期間が経過しているにもかかわらず、国鉄形そしてJR形に限らず、不明な改造内容などが存在することは少なくない。国鉄形車両でその代表的な例は、72系旧形国電(2017年11月号:No.938参照)と今回取り上げる国鉄急行形気動車の代表的な形式であるキハ58系を挙げることができる。

キハ58系は都市間や都市と観光地を結ぶ急行・準急列車の増発用として、1961(昭和36)年から1969年にかけて計1,822両(郵政省所有のキユ25形4両を含む)が製造された。国鉄形気動車では初めて投入地域によって形式を分けて新製された車両ではあるが、全国各地で気軽に見ることができる車両であること、製造年次による設計変更が多種多様であること、そして鉄道ファンの興味を引く改造工事が多く施工されたこともあって、実物の大部分が過去帳入りした今もなお、幅広い年齢層の鉄道ファンからとても人気を得ている車両である。

キハ58系はDMH17系列機関を搭載して登場したが、将来のスピードアップ化要請や2等車(後の普通車)冷房化に際して、2台機関搭載車では冷房発電装置が搭載できないため、大出力の1台機関を搭載した試作車として1966(昭和41)年から翌年に登場したのがキハ90・91形である。キハ58系登場当時では製造費用などの関係で不採用となった前面の曲面ガラスや、側窓にユニット窓の採用といった数々の新設計が施されたため、スタイルについてもキロ60形・キハ60形とは異なり、従来車と一線を画すことができた。このキハ90・91形の試作結果を基に、1969(昭和44)年から1971年にかけて製造されたのがキハ65形で、中部・四国そして九州における山岳線区の急行列車の冷房化に一役買った。そして、1975(昭和50)年3月山陽新幹線博多開業後の北九州地区の輸送改善用として、同年に登場したのがキハ66・67形である。キハ66・67形は北九州地区の快速用として登場するも、登場時から冷房車かつ腰掛は転換腰掛を用いるなど、当時のキハ58系などよりも客室設備が優れていたため、急行「日田」「はんだ」でも活躍した。これらの車両について本誌特集号においては、キハ58系はNo.478(1987年4月号)、No.686・687(2000年6・7月号)、No.801(2008年3月号)、キハ90・91・65・66・67形はNo.584(1993年12月号)にてキハ181系とともに取り上げられているものの、すでに市場から消えて久しい。

そこで、今回は実物車両のほぼ大半が鬼籍に入ってもなお、私たち鉄道趣味者から人気のあるキハ58系とキハ90・91・65・66・67形をまとめて国鉄形車両の記録「急行形気動車」として取り上げることにする。

本書をまとめるにあたっては、これまで発表が詳細に行われてこなかった国鉄気動車の冷房化について、気動車急行における冷房化の記録、そしてJR化後の改造内容の詳細などを解明するべく、各項目の見直しや再検討を行ってきたが、気動車急行における冷房化の記録については解明できなかった項目もあるため、割愛することにし、判明分については車歴表にて記述するのみに留めた。また形式集については、増備車設計変更点、形式間改造車、そしてJR化後にも含めた細部にわたる改造内容について、形式写真が揃う限り展開した結果、紙数の関係からジョイフルトレイン(和式・欧風気動車)とイベント用改造車については構成を断念した。

読者の皆さんには、本書から国鉄急行形気動車の奥深さについて、その理解を深めていただければ幸いである。

2018(平成30)年1月 鉄道友の会 客車気動車研究会  
(文責:平石大貴)

## 目次

急行形気動車津々浦々 久保 敏・石原裕紀・真鍋裕司・太田正行・岸 幸男・平井宏司・和田康之 …… 1

国鉄急行形気動車のあゆみ 平石大貴 ……10

ジョイフルトレイン・イベント用改造車 平石大貴 ……56

キハ58系 JR承継車のこの1両 西脇浩二 ……69

国鉄気動車 冷房化のあゆみ 中村光司 ……72

急行形気動車 形式集 構成:平石大貴 ……86

急行形気動車 車歴表 作成:鉄道友の会 客車気動車研究会 ……162

表紙写真: 備後落合駅・急行「ちどり」…石原裕紀/キロハ281…真鍋裕司  
キハ58 311・キハ58形1500番代盛岡色…太田正行

急行「ときわ」 1984.5.23 岸 孝

